

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ホームの理念としてその日その時を大切に「その人らしい生活」を送れるよう実践に努めている。申し送り時、理念を復唱し共有に努めています。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	地域の自治会への加入している。ボランティアカットの受入れをしている。また、傾聴の会と連絡を取り合い開始時期について相談している。	少しづつだが、出来ることから行っている。ボランティアカットに来て頂き、若いスタッフが来るのを楽しみにされている。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍により、書面を通じての開催となっている。地域民生委員、市原市高齢者支援課、地域包括センター、各種関係者に貴重なご意見を頂いている。	感染症対策のため会議参加予定者との話し合いとはいかなかったが、書面にて施設内の近況や事故後の対応等の報告がありサービスの質の向上に繋げる姿勢を感じた。報告書やリブフォーレスト姉崎便りに利用者やその家族、職員の率直な想い等を載せて頂けると施設内の様子がよりイメージしやすくなると感じた。と、貴重なご意見を頂けた。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居状況や事故報告、退去時の困難ケースで相談を要するケースも相談している。運営推進委員会の報告・自己評価・外部評価を報告し常に連絡、相談している。	市町村担当者、福祉総合相談センターと密に連絡を取らせて頂き、相談にのってもらいアドバイスを頂いている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	身体拘束の資料を更新し定期的に研修を行っている。日頃のケアにおいて意見交換を行い、認識を持ち取り組むよう注意を図っている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	引き続き、身体拘束について年2回内部研修を実施・また研修計画をたてている。研修の必要性を説明して積極的に意見交換をして職員の質の向上を図っている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	虐待防止の定義や行為を確認し、虐待の無いよう常に注意を払っている。会議では、言葉遣いには十分気を付ける様指導している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	虐待についての話し合いを会議で年に数回行っている。職員同士も日頃から気になる事は指摘し合い意見の交換を行っている。、利用者に安心して過ごして頂くように努めている。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新規入居者様の中で成年後見制度が必要なケースもあり対応している。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時は、契約書と重要事項説明書を並行して説明している。疑問点には丁寧に説明し、理解納得を頂いている。介護加算や介護報酬の改定時も説明している。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族への電話連絡、計画書更新時に、意見や要望を聞き、支援に反映させている。利用者には、日頃、思いを汲み取り、職員で共有し支援につなげている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	週4日から5日、散歩をさせるために訪問しているので、管理者や職員と話す機会が多い。神経内科担当医師への薬の処方依頼には問題行動を具体的に報告することができている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個人面談を年2回行うようにして、提案や意見を聞く機会を設けている。主任やリーダーに届いた意見を、管理者と話し合い、都度改善に向けている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	実績に応じて昇給や年2回(夏・冬)の勤務評価を行い、給与等に反映させている。職員の努力や実績を把握し必要と思われる研修に参加して向上心をもって働けるように努めている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	実績や能力があると推薦された職員はリーダーとして推薦され、のちの管理者候補として育成をしている。主任→課長→部長と昇進していける環境を整えている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員一人ひとりの力量を把握し仕事を任せ、向上心や成長につながるよう実践している。利用者様の状態に合わせて、適宜介護技術や医療分野の勉強会を行っている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	能力により、研修命令を出し、実務者研修などの研修を、勤務扱いとし研修を行なう。費用についても、会社支給とする。実務者研修を取得すると処遇改善がアップすることにより職員は向上心を持って働くことができる。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、職員は同業者と交流する機会を持っていない。管理者は月1回の管理者会議やグループホーム全事業所とのウェブ会議を行い、他管理者と交流し情報交換を行いサービスの質の向上に努めている。			

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者様一人一人の出来る事を見つけ、職員間で共有し、一緒に生きがいや喜びを感じて頂けるよう関係を築いている。			
15	馴染みの人や場との 関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者様のこれまでの生活歴を傾聴している。感染拡大防止のため、面会を予約制として頂き、親せきや友人等の面会を行い関係が続けられるよう支援に努めている。	ご家族より母の日の花や誕生日のプレゼントが届いたり、遠方の親戚よりプレゼント等が届いたりした際は、お礼の電話をし、ご本人ともお話をさせていただいたり支援している。代筆で施設よりお礼のお手紙も出している。		
<b>Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者様の希望や思いを傾聴し意向に沿えるように努めている。また困難な場合は家族に支援をお願いして本人本位で検討している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご本人様、ご家族様の思いを確認し状況を踏まえて、改善に向けた支援を可能な限り介護計画に立案している。	ユニット会議でケースカンファレンスを行い、職員間で気づいたこと等、意見交換を行い反映させている。またご本人よりご要望をお聞き反映させている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	通常の会議で提案されたことや職員の意見を元にご家族にケアマネを通し提案することもある。利用者が快適に暮らせるように常に職員間でアイデアを言える環境を整える。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	特記事項はユニット日誌へ記入して、個別性のケアに反映し介護支援実施表にて実践している。実践した内容をケアプランに反映させている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	1日1回の申し送りを夜勤者と日勤者で申し送りをする。ADLの低下についてはいち早く気が付くよう問題行動の背景も細かい送りがされて、介護計画の見直しも行っている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	起床や食事の時間は、ご本人の希望に合わせている。体調不良時ご家族が対応できない場合、通院介助を行っている。	運営推進会議で話し合いは出来ていませんでしたが、起床や食事の時間、食事形態等、その時々状況で対応しています。ご家族の代わりに外部受診も行っています。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	カットボランティアの受け入れを開始した。	地域の傾聴の会やボランティア活動をされている方より問合せを頂き、時期を見て調整する予定。		

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	現在訪問診療にて適切な医療を受けている。、内3名は家族対応で外部受診。往診医院は電話での相談も出来る。訪問歯科での治療も対応している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院・退院の際は、主治医に報告・連絡・相談をしている。看護師やケースワーカーと連絡を取り合い関係作りに努めている。適宜、ご家族に詳細を報告・連絡・相談をして円滑に退院に向けた調整を図っている。	発熱時や体調不良時、施設内の状況も常に連絡を取り関係作りを行っている。夜間についても救急時は往診もありまた救急搬送の指示も頂けている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	退院日の調整など医療機関との連携は図れているが重症度のある方の調整で難しい事がある。利用者様の状態変更の際はより密な連携が必要。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居の際、看取りについての説明を行いご家族の希望を確認している。終末期に近づいた場合、ご家族・主治医も交えて話し合いを行い情報を共有して対応している。	ご家族の意向をお聞きしながら、情報や方針を共有し支援に取り組んでいる。施設で出来る事を主治医の指示のもと行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	重度化・終末期についてキーパーソンとの連携は図れていると思います。今後も継続をよろしく願います。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	急変時や応急手当は、主治医の指示のもとケアを実施している。急変時、事故発生時は、急変時のフローチャートに沿って対応している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年2回の避難訓練の実施。避難訓練の際、避難方法、避難場所等、職員に指導している。今後の災害に備え、近隣施設との協力体制を気築く事が課題。	近隣施設や地域との協力体制の連携を取り、災害時に備えていきたい。避難訓練時だけでなく、平日頃より避難方法など身につけたい。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年に2回の避難訓練の実施と夜間帯想定訓練も行っている。火災報知器やスプリンクラーの対応方法も定期的に訓練したい。地域との協力体制として難しい事もあり職員の緊急時の対応として自宅が近い職員の招集をかけることとする。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員は仕事に入る前、入居者様一人ひとりに挨拶をしている。更衣、入浴介助、排泄介助時、プライバシーが守れるように、扉やカーテンを使用し配慮をしている。内部研修や会議で声掛けについての指導をしている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入浴時のプライバシーの配慮として中のカーテンを必ずすることとする。人生の先輩方の気持ちを忘れずに、声かけ指導を行うように、丁寧な言葉でゆっくりと話す。入浴時の会話も大切にしている。

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者様の心身の状態を配慮し希望に沿って、その方のペースを穏やかに過ごせるように付き添い対応している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	配膳、下膳、出来る事は手伝って頂いている。お楽しみメニューやおやつと一緒に考えて食事が楽しみになるよう努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食事の好き嫌いも出来るだけ要望に応えたり調理を工夫したりしている。下膳も出来る方はできるだけ自分で行うようにしている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	その方に合った、食事形態、量など注意して提供しています。水分摂取が少ない方、拒否のある方は好みの飲み物、ゼリー、おかゆの水分量を工夫して提供している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個々の状態に合わせ一部介助、介助、声掛けにて行っている。拒否がある方に関しては、訪問歯科にアドバイスを頂き、日頃のケアに活かしている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	自立の利用者は自分で行うが、口腔内の確認は声かけし行っている。出来る事は自分でい出来ない所を少し手伝うようにしている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	排泄チェック表を活用し回数や時間帯を把握し、トイレ誘導を行っている。立位保持が困難な方など必要に応じて、2人で対応してトイレ誘導を実施している。残存機能を把握して、自身でできる方は排泄してもらいできないことを介助している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	時間によってトイレに行っていない利用者に声かけを行い便秘予防として動ける方には積極的に動いて頂くよう声かけを行っている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	基本週2回の入浴で曜日も決められているが、その時の状況で入浴日の変更もしている。入浴剤を使ってリラックスして入浴できるように支援している。			

33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	今までの、生活習慣や希望に沿 って休息して頂いている。夜間、 寝付けない方もおり、傾聴、居 室内の温度調整(エアコン・掛 布団の調整)等、個別に対応し ている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めて いる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	薬の管理は薬剤師が行っている が、職員も薬の内容を把握する よう努めている。体調変化時 等、主治医や薬局とも連携を取 れる環境作りをしている。誤薬 防止のため二重チェック、服薬 介助時指差し確認を行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	各、入居者様の薬品情報はファイ リングして管理、服用時点ごと に一包化ののちユニパックに入 れて保管、入居者様の体調に 応じて、クリニックに適時相談 の上、服用支援を行っており、 適切に支援を行なっている。
35	役割、楽しみごとの 支援	張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、 嗜好品、楽しみごと、気分転 換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍のため外出や外食も あまりできていない。体操、 塗り絵、日記付け、ご自分の 好きな事をして気分転換され ている。個々の能力に応じ、 洗濯物たたみ、テーブル拭き、 カレンダー管理など役割分担 し支援している。	洗濯物たたみ、食事後の食器 洗い等、個々の力を活かした 役割の支援を行っている。利 用者様は「お仕事があって嬉 しい」と話される方もいます。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所 でも、本人の希望を把握し、 家族や地域の人々と協力しな がら出かけられるように支 援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	買い物同行支援は行い一緒に 買い物に行き外出している。 天気の良い日は外気浴や散歩 を行っている。	要望に沿って買い物に同行 また、ドライブで近くの公園 などに外出しています。施設 屋外の花壇に花の苗植えで 外に出る機会を増やしてい ます。		
37	お金の所持や使う ことの支援	職員は、本人がお金を持つ ことの大切さを理解しており、 一人ひとりの希望や力に 応じて、お金を所持したり 使えるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ほとんどの方が金銭管理 できず、希望の品がある時 はご家族からお預かりして いるお金で購入してご家族 にお金を持参して頂いて いる。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自ら が電話をしたり、手紙のやり 取りができるように支援し ている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご家族に連絡する際、希望 に応じ、ご本人に代わりお 話して頂いている。手紙は 書けない方に関しては代筆 も支援している。			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご自分の居室が分からない方もおり、各居室に表札を掲示し混乱しないよう配慮している。季節に応じ飾り付け等をし、居心地良く過ごして頂ける様に工夫している。施設の廻りが木々に囲まれており、外の景色を見て季節を感じる方もいます。コロナ渦により外出する機会が減っているため室内でも楽しめる空間づくりを心掛けている。その一つとして、昔の動画を観て回想して利用者様の間で会話が弾んでいる姿が多く見られるようになった。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の中にも合うあわないがあります。ひとり一人が快適に過ごせる様席の配置にも気を使っています。季節の果物を食事の時や水分補給時に提供し召し上がっていただき、花などを取り入れ少しでも季節を感じられるように配慮しています。
----	---------------	--	--	---	--	--	--

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍のため利用者様の希望に制限はあるも、外気浴や買い物に同行して頂いている。できる範囲で意向に添えられるように努めている。普段の暮らしは職員の業務の都合にせず、ご本人の思いを聞き、関わりを持ちながら察して対応している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所前の情報や入所後、ご本人やご家族様より情報を収集し、今までの暮らしに近い支援をできるように努めている。(新聞を読む、日記を書く、毎朝、掃除をする等)			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月2回の訪問診療の際、ご自分で主治医に相談している方もいる。本人が訴え困難な時は、職員が現在の心身の状態・状況を説明して相談、連絡して連携を図り支援をしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	健康面は毎日のバイタルチェックの他、排便の確認や水分量等をチェックしています。医療面は訪問診療との連携をとり随時指示を受け対応している。ターミナルの利用者については主治医の指導のもと対応を行っている。

43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所され環境が変わり、戸惑う事も見られるが、少しずつ自分の居場所を見つけ、他の入居者様や職員とも関わりを持ち生活をされている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所の際、使用されていた家具や思い出の物など持って来られる方もいます。荷物がある事により混乱や帰宅願望につながる方もいるので状況により対応している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	仏壇などご自宅で大切に関わっていた利用者については出来るだけ寄り添う心を持ち、ニーズに応じて行けるように努力している。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	以前は他事業所の祭りや地域の敬老会に参加されていたが、コロナ禍のため行事したいが中止。散歩や買い物同行を増やし外出する機会を増やしている。敷地内での外気浴は行っている。	ご家族の支援により月1回の頻度で病院受診や馴染みの美容室に外出されている方もいます。 コロナ禍でも、出来る事を行っていきたい。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人やご家族から生活歴を聴いて、認知症の進行により今まで出来ていた事も出来なくなる事もあるが、ご本人の気持ちを尊重し洗濯物たたみ、掃除や食器洗いなど役割を持って頂いている。「仕事が出来て嬉しい」と喜ばれる方もいる。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	他フロアを行き来され、いつもと違う利用者様や職員と会話されたり、お茶を一緒に飲まれたり、外のベンチに腰掛け談笑されたりとひと時を過ごされている。会話の出来ない方も職員が話し掛けるよう努めている。		A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員との会話を職員も一緒に楽しむ事が出来、昔のお話や裁縫をされたり、雑誌を一緒に見たり、日々の暮らしを楽しんでいる様子も見受けられます。
		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍のため地域の行事も中止。、コロナの感染者も減少し行動制限の緩和されているため、カットボランティアの受け入れは再開した。他の地域の方々との交流も再開するように計画している。	家族の支援により、月1回の頻度で病院受診や馴染みの美容室に行かれている利用者様もいます。		



49	総合	<p>本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている</p>	<p> <input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている  <input type="radio"/> B. ほぼできている  <input type="radio"/> C. あまりできていない  <input type="radio"/> D. ほとんどできていない </p>	<p>職員とは日々、何気ない会話と一緒に作業をしたりしている。職員が出勤してくるのを楽しみにされている方もいる。安心して日々、過ごして頂けるよう努めている。</p>	<p>地域の人々との親しみはコロナ禍のため難しいが職員とは日々の関わりで安心して過ごして頂けていると思う。</p>	<p> <input type="radio"/> A. 十分にできている  <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている  <input type="radio"/> C. あまりできていない  <input type="radio"/> D. ほとんどできていない </p>	<p>感染症対策のため利用者の生活状況を直に感じる機会は少なかったが、入所対応を頂いた方の、その後を伺うと落ち着いて楽しく暮らせているようで安心しています。</p>
----	----	---	--	--	---	--	--